

# 国際活動2009~2019

ブークは、1957年モスクワで開催された「世界青年学生平和友好祭」へ代表を派遣し、そこから実際の国際活動が始まりました。以来ブークは広く世界の人形劇人と交流を深め、情報を交換し、刺激し合ってきました。長い間先頭に立ってきた川尻泰司（元劇団代表）のあと、2004年ウニマ・リエカ大会で小柳田美子がウニマ執行委員（同時にウニマ副会長に選出2004~2008）となり、精力的に世界を駆け回っています。一方でブーク人形劇場企画製作/世界の人形劇シリーズは、伊井治彦を中心に新しいスタッフが定着、精力的にプロデュースを展開しています。毎年発行している「ブーク人形劇場通信」英語版編集長は市橋亜矢子がなっています。2018年5月からは川尻麻美夏が日本ウニマ副会長となり、国際活動の世代交代を進めています。

## ■スペイン・トロサ国際人形劇フェスティバル『くまの子ウーフ』と「日本の人形劇展 in スペイン 2010」

●2010年11月23日~12月7日 <第18回海外公演>

スペイン・トロサで開催の第28回トロサ国際人形劇フェスティバルの招待を受け、『くまの子ウーフ』を上演しました。2都市、2日、5ステージ。現地の人形劇人の依頼を急遽受け、ワークショップもしました。演出の井上幸子も同行、メンバー/岡本和彦、早川百合子、佐藤文子、山越美和、井上彩香、松原亜沙美、芦辺靖（フリー）。

●「日本の人形劇展 in スペイン 2010 -Window to Japanese Puppetry-」として、日本の人形劇団の上演ほか、およそ160体の人形展示がスペイン・バスクの地トロサで実現。ブークの『はだかの王様』『天守物語』、ノーヴァ製作 TV 人形等を展示。実質的に主催したのは2009年に開設した「トロサ国際人形劇」。M・アレッチェ氏とイドヤ氏がリードし、日本側は実行委員会として松沢文子・植松淳・小柳田美子を中心に全国のウニマ会員や関係者の協力で開催。設営にはノーヴァより菅澤敬一も参加しました。



1983年『はだかの王様』の人形

1993年『天守物語』の人形

## ■台湾/イフキッズとの交流

●2011年10月1、2日 <第19回海外公演>

台湾の児童劇団「イフキッズ」3度目の要請により、『おれはママじゃない!』『ふしぎな箱』を上演。野外ステージでの公演となり、雨に見舞われましたが、世界共通の人形劇の世界に観客も熱心に観劇してくれました。メンバー/大橋友子、柴崎喜彦、西本勝毅、川尻麻美夏。

●2013年5月29、30日 7月25~27日 同劇団の依頼で、新作『ドリーム・キャッチャー』の人形製作を佐久間弥生が担当、大橋友子が人形操作指導を、2回に亘り訪台しています。



2011年 イフキッズ代表チョウさんと

2013年 人形操作指導をする大橋友子

## <国際活動年表>

### ●2009

- 訪問 韓国/濟州島 沈雨晟ひとり芝居のための打合せ 2/16~18 渡辺真知子、高島ルミ
- 渡航 9/16~18 小柳田美子 フランス/ウニマ執行委員会会議・スペイン/カタルーニヤ言語文化研究所訪問・オランダ/ウニマ女性委員会打合せ
- 参加 フランス/「シャルルヴィル・メジエール世界人形劇フェスティバル」 9/18~27 小柳田美子、西本勝毅、児玉真理、城田雅子、坂上浩士、松尾 達



- <世界の人形劇シリーズ No.16> イギリス/ロバート・スタイルズ『パンチ&ジュディ』上演11/6、7 他レクチャー、ワークショップ開催
- 公演参加 コロンビア/日本人移住80周年記念「日本の宴」11/4~15 星野 毅、児玉真理(写真左下)

### ●2010

- 会議 オランダ/ウニマ臨時総会 6/17~7/2 小柳田美子
- 来団 ドラ・カンテロ(スペイン) 8/12
- 短期留学 ブルガリア国立映画演劇アカデミー(NATFIZ)に 9/10~12/5 柴崎喜彦
- 打合せ スペイン、ブルガリアへ 9/17~25 小柳田美子
- プロデュース ポーランド/ビャウイストック人形劇場『日本の幻想』矢板、浜松にて公演 11/21~29 小柳田美子
- 第18回海外公演 スペイン/「トロサ国際人形劇フェスティバル」招待 11/27~12/5 (詳細上記参照)

### ●2011

- 打合せ 香港/第21回ウニマ大会と国際人形劇フェスティバルのために 5/18~25 小柳田美子
- 出席 ドイツ/マクデブルグ ウニマ女性委員会 6/18~24 小柳田美子
- <世界の人形劇シリーズ 特別公演No.17>ロシア/モスクワこども人形劇場『はりねずみとうさぎとくま』上演7/31~8/7
- <世界の人形劇シリーズ No.18> スペイン/劇団ラ・ファンファラ『ブルチネラに乾杯!』上演8/10-11 全国ツアー7/23~8/14
- <世界の人形劇シリーズ 特別公演No.19> 台湾/新興閣中劇団『西遊記』上演8/13
- 第19回海外公演 台湾/新北市 子ども芸術フェスティバル参加 9/29~10/2 (詳細上記参照)
- 招待 ブルガリア/「ゴールデンドルフィンフェスティバル」審査員として 10/1~7 小柳田美子

## ■中国/第21回ウニマ世界大会『ねぎぼうずのあさたろう』上演

●2012年5月25日~6月4日 <第20回海外公演>

中国 / 成都で開催の第21回ウニマ大会・国際人形劇フェスティバルへ公式招待劇団として『ねぎぼうずのあさたろう』を上演するために中国へ。4年に一度開催されるウニマ大会は、盛大に行われます。ブークは、フェスティバル前日26日の開幕式リハーサルより参加、たくさんの海外人形劇人と交流できました。ブークの公演は1日3回公演でしたが、久しぶりの国際フェスに懐かしい人たちが観劇しに来てくれました。私たちも精力的に沢山の人形劇を手分けして観劇しました。中国の伝統的な人形劇の技には舌を巻くほど、伝統芸を学ぶ学校も各地にあり、学生の参加も多く見られました。合間には成都にあるパンダ園へ、本場パンダ国との実感!パンダの人形劇も多いのにも納得です。

メンバー/滝本妃呂美、市橋亜矢子、西本勝毅、栗原弘昌、野田史国希、吉川安志、井上彩香、芦辺靖。

大会では、28項目にわたる議題が5日間討議されました。日本ウニマ会長でもあった小柳田美子が出席し、執行委員として再選されました。



①

②



③

- ①第21回ウニマ成都大会 大会最終日、4年後の開催国が決まり、成都からトロサ(2016・スペイン)にウニマの旗が渡された瞬間。
- ②開会式にはたくさんの人形が集合しました。
- ③『ねぎぼうずのあさたろう』終演後、現地スタッフ、通訳の学生さんたちと。

ウニマ (UNIMA) とは、【国際人形劇連盟 Union Internationale de la Marionnette】です。

1929年5月、プラハ(チェコスロバキア)で設立総会が行われました。演劇分野では最も歴史のある国際組織です。現在の本部は1980年からシャルルヴィル・メジエール(フランス)にあります。4年に一度、開催する総会では国際人形劇フェスティバルも併催されるのが慣例です。日本では総会とフェスティバルを合わせて「大会」と呼んでいます。センターのある国は100カ

国を越え、全世界に7000人以上の会員がいます。日本ウニマは、【国際人形劇連盟日本センター】で、1976年に発足しました。2015年からは【NPO 法人日本ウニマ(特定非営利活動法人国際人形劇連盟日本センター)】になりました。日本のウニマ会員は256人(団体数14)です。

- <世界の人形劇シリーズ 特別公演 No.20> ブラジル/ブルーノ・デスカバス 上演11/11

### ●2012

- <世界の人形劇シリーズ 特別公演No.21> 中国/伝統棒遣い人形の至芸 譚志遠の世界上演3/7
- 参加 イギリス/「パンチ350歳誕生祝い」5/12、13 竹内とよ子、高島ルミ
- 第20回海外公演 中国/成都 第21回ウニマ大会・世界人形劇フェスティバル招待参加 5/27~6/3 (詳細上記参照)

### ●2013

- 依頼 台湾/イフキッズ『ドリーム・キャッチャー』人形製作/佐久間弥生 人形操作指導/大橋友子 指導5/29~30 観劇7/25~27 (関連記事p32)
- 参加 チェコ/リベッツ「マテジカ国際人形劇祭」6/18~22 小柳田美子
- 参加 スロベニア/「マリボル人形劇フェス」9/

- 12~10/2 小柳田美子

- 参加 ブルガリア/スタラ・ザゴラ人形劇場「ピエロフェス」ウニマ女性委員会に 小柳田美子
- 出席 アゼルバイジャン/ウニマ執行委員会 11/7~13 小柳田美子

### ●2014

- 出席 キューバ/ウニマ評議会・執行委員会に 4/15~29 小柳田美子
- 招待参加 スロバキア/「ニトラ人形劇フェスティバル」6/8~15 小柳田美子
- 出席 ドイツ/ウニマ女性委員会に 招待参加「マクデブルク人形劇フェス」6/20~29 小柳田美子
- <世界の人形劇シリーズ No.22> ブルガリア/クレドシアター「外套」『おとうさんのことはいつもよし』上演10/21~26 全国ツアー10/14~18
- 参加 スペイン/「トロサ国際人形劇フェスティバル」11/21~12/4 小柳田美子

### ●2015

- 招待参加 ギリシャ/「キルキス国際人形劇フェスティバル」5/16~25 小柳田美子
- 欧州視察 小柳田美子
- チェコ/アルファ人形劇場新作観劇 6/3~14 「マテジカ2015」参加 6/16~19 オランダ/「スティルス国際フェスティバル」招待参加 6/20~24
- 参加 インドネシア/「アセアン-ジャパン人形劇交流祭典2015」8/3~11 中山正子、川尻麻美夏
- <世界の人形劇シリーズ 特別公演No.23> イタリア/ジャンルカ・ディ・マッティオ「ザ・ブルチネラ」上演8/12
- 会議 インド/ウニマ執行委員会 9/9~16 小柳田美子
- 参加 フランス/「シャルルヴィル・メジエール世界人形劇フェスティバル」9/18~27 ウニマ女性委員会出席 小柳田美子

■ソフィア人形劇場×ブーク共同制作公演  
『カモメに飛ぶことを教えたドラ猫の物語』  
“The Story of the Seagull and the Gang of Tomcat”  
2018年3月日本公演と9月の海外公演ツアー



①製作中のマイヤさん、ノーヴァにて  
②クロアチア、オープニングパレードで町の人と交流。  
③ミニワークショップで車人形を体験してもらった。  
④ブルガリア公演後、スタッフ、出演者と。



2018/3月『カモメに飛ぶことを教えたドラ猫の物語』 写真/あがた・せいじ

1958年、川尻泰司(元劇団代表)がブカレストで開催された国際フェスに参加した折、ブルガリア代表だったN・ゲオルギエヴァ氏と出会ったことから、ブルガリアとの密な国際交流が始まりました。ブルガリアの作品やアーティストの招聘から、ブークのブルガリア公演、劇団員のブルガリア国立映画演劇アカデミー(NATFIZ)への留学など多岐に亘る交流の中で、2009年にはブルガリア共和国文化大臣よりブークに“ブルガリア文化の発展と功績に対して”表彰状が贈られました。そのことも後押しとなり、ブルガリア大使館からの声かけでソフィア人形劇場との共同制作が決まりました。

2018年3月『カモメに飛ぶことを教えたドラ猫の物語』のソフィア人形劇場とブークの共同制作公演に向け、ブルガリアよりスタッフ・俳優総勢7名を招聘。ブーク人形劇場制作、劇団ブーク出演、スタジオ・ノーヴァ美術製作とブーク3セクションの総力を挙げ取り組みました。そして、9月ブルガリア/ソフィアでも共同公演を実現しました。

ソフィアでの公演が決まり、時を同じくして「PIF 国際人形劇フェスティバル」から久しぶりにブークへの招待が届き、ザグレブ〜ブルガリアのツアーとして準備が進められました。「PIF」は回を重ねること52回目。フェスがザグレブの街にしっかりと根を下ろしていることがわかります。劇場からスタートする人形パレードに、街の人々が暖かく手を振って下さいました。

ソフィアでは、「ソフィア人形劇場」を拠点に開催している「パペット・フェア国際人形劇フェスティバル」のプログラムとして、『カモメに飛ぶことを教えたドラ猫の物語』を公演。三月に東京で幕を開けたスタッフ・俳優と再会。演出のカティア・ベトロヴァさんの開演時間ギリギリまでの指摘と励ましを受けての幕開け。半年ぶりのアンサンブルで“合わせ稽古”もままならずではありましたが、満席のお客様からの拍手の嵐に胸が熱くなる一幕でした。

クロアチア、ブルガリアツアー 〈日程：9月14日〜26日〉  
メンバー/佐藤達雄、小塚田美子、市橋亜矢子、吉川安志、伊井治彦、小原美紗、坂上浩士、小立哲也、石田律子、白岩七瀬、阿部千賀子(第一ステージサービス)、あがたせいじ(写真家)

【第52回 PIF 国際人形劇フェスティバル】(クロアチア/ザグレブ)  
15日 パレード参加、16日 伝統人形芝居WS、17日 伝統人形芝居公演  
【第10回 ソフィアパペット・フェア】(ブルガリア/ソフィア)  
20日 伝統人形芝居WS、22日『カモメに飛ぶことを教えたドラ猫の物語』公演  
【プロブディフ公演】(ブルガリア/プロブディフ)  
23日 伝統人形芝居公演+WS

■2018年8月ルース・S・ガネットさん来日



ガネットさん〜愛すべきわたしの女神〜

ブークは1965年のNHK教育テレビ『エルマーのぼうけん』放送に関わったことをきっかけにその内容に惚れ込み、ぜひ舞台公演も行いたいと同年には初演を果たしました。それ以降も再演を重ねブークの記念碑的作品となっていますが、劇団創立90周年に向けて新たに作り直す事を決め、ちょうど出版70周年を迎えたアメリカでは原作者のガネットさんが元気に暮らしていることを知り、ぜひ一度お会いしたいと制作チームがイサカのご自宅を訪ねることになりました。

ガネットさんは実に、あたたかな春の日の陽だまりのような人でした。自然の恵みと手の温もりが、その暮らしぶりから、何よりガネットさん自身が纏う柔らかな佇まいから感じられました。庭に生ったオレンジの実、地元で作られたチーズ、手作りのパンにジャム、木材を切ったり、色を塗ったり必要なものを作り直すためのたくさんの道具。アイデアとユーモアに溢れた生活と、たまに見せる子どものような表情に、私たちはいつしかエルマー少年を重ねその人柄に魅了されていきました。

ガネットさんのことをもっとたくさんの人に知ってほしいという願い、そしてブークが『エルマーのぼうけん』を愛し、作り続ける熱い思いが届き、ついにガネットさんの来日と観劇が実現しました。日本滞在中は取材やイベントで大変なスケジュールだったにもかかわらず、体調管理のため同行した二人の娘さんと共に、いつもにこやかに冗談を言い合ったり、私達を気遣って下さったりと、ガネットさんたちのフォローには何度助けられたかわかりません。満席の紀伊国屋ホール、ガネットさんの登壇は舞台のライトが要らない程に会場中を照らしてみせました。まるでガネットさんの中のエルマー少年が、私たち一人ひとりの心に、小さな太陽を宿してくれたような、そんな瞬間だったのです。

舞台上を駆け回るねずみの動きや、いのししの登場には声を上げて笑っていらっしゃいました。今年96歳を迎えられたガネットさん。私たちはいつまでも、心からの尊敬と親愛の気持ちを贈りたいと思います。

制作部・最上亜矢子



⑤アメリカ訪問、ガネットさんのお宅で。左よりガネットさん、最上、通訳として同行していただいた前沢明枝さん。  
⑥ガネットさんを囲んでエルマーたちと。  
⑦空港でガネットさんをお出迎え。  
⑧8月4日 ガネットさんとパネルディスカッション。右側に前沢さん、ガネットさんの両脇にアメリカより同行された娘さんたち、左より演出の柴崎喜彦、児童文学者の渡辺鉄太さん(『エルマーのぼうけん』を翻訳された渡辺茂男氏長男)。

●<世界の人形劇シリーズNo.24> フランス/ポリナ・ポリソバ[GO!] 上演11/25、26 全国ツアー

●2016

- 会議 スペイン/トロサ|サン・セバスチャン 第22回ウニマ大会 5/28〜6/5 小塚田美子、伊井治彦
- 訪問 ブルガリア/ソフィア中央人形劇場70周年を祝い「だるまちゃん」の人形を贈る 6/7
- 招待 チェコ/スクボヴァ国際人形劇フェス 小塚田美子、伊井治彦
- 参加 オランダ/ドルドレヒト 「国際マイクロフェスティバル2016」 8/29〜9/6 小塚田美子
- <世界の人形劇シリーズNo.25> ブルガリア/クレドシアター 「外套」[おとうさんのすることはいつもよし] 上演9/25、27
- スタッフ参加 ポーランド・日本共同製作「四季<ポーランド>」 9/26〜10/9 小塚田美子

●2017

- <世界の人形劇シリーズ 特別公演No.26> ハンガリー/マイクロポディウム 上演3/2、3
- 会議 中国 「第2回南充国際人形劇アートウィーク」 6/1〜6 小塚田美子
- 招待参加 チェコ 「マテジカ国際人形劇フェス」 6/13〜17 小塚田美子
- <世界の人形劇シリーズ No.27> オランダ/スタッフド・パペット「マチルダ」上演8/7〜9 全国ツアー
- 参加 オランダ/「国際マイクロフェスティバル2017」 8/30〜9/7 小塚田美子、伊井治彦
- 上演参加「一人三番、かっばれ、玉すだれ」
- 来日 ブルガリア/マイヤ・ベトロヴァ氏 『エルマーのぼうけん』美術打ち合わせ。 8/16〜21
- 参加 ブルガリア/「国際人形劇フェスティバル ゴールデンドルフィン」 10/1〜7 小塚田美子、伊井治彦、石田律子

- 訪問 アメリカ/ニューヨーク州在住の「エルマーのぼうけん」原作者/ガネットさんを 10/6〜12 西本勝毅、最上亜矢子 (詳細p35参照)
- 上演参加 韓国/「春川国際人形劇フェスティバル」 「ねずみくんのチョコッキ」[いっほんばしわたる] ワークショップも開講 10/11〜15 岡本和彦、早川百合子、吉川安志、山越美和、井上彩香、伊井治彦

●2018

- 滞在 ブルガリアよりマイヤ・ベトロヴァ 『エルマーのぼうけん』、『カモメに飛ぶことを教えたドラ猫の物語』美術製作のため 1/4〜3/20
- 人材交換 「カモメに飛ぶことを教えたドラ猫の物語」 打合せの為ブルガリアへ 1/9〜24 石田律子 人形製作日本に 1/20〜2/11 ガンカ・キロボ
- <世界の人形劇シリーズ 特別公演No.28> イスラエル/ザ・キーシアター 上演2/19
- ブルガリア×ブーク共同制作公演 『カモメに飛ぶ

- ことを教えたドラ猫の物語」 上演3/10、11
- ブルガリアより滞在 2/20〜3/13 カティア・ベトロヴァ(演出)、マイヤ・ベトロヴァ(美術)、キリアコス・アルギュロプロス(制作)、ストヤン・ロヤノフ(音楽)、マリエタ・ベトロヴァ(俳優)、ルーメン・ウグリンスキイ(俳優) (関連記事p34)
- 会議 ドイツ/ボーフム市 ウニマ評議会に 5/13〜16 小塚田美子、川尻麻美夏、山口遥子
- 参加 チェコ/「ビルゼン・スクボヴァ・フェス2018」 6/10〜19 伊井治彦、石田律子、山口遥子
- 上演参加 韓国/「第29回 アジア人形劇祭」 「ア・吉・チビの開幕劇」[車人形・かっばれ][玉すだれ] 8/3〜5 佐久間弥生、川尻麻美夏
- 来日 エレナ・パナトローヴァ(ブルガリア)打合せ
- 来日 『エルマーのぼうけん』原作者ルース・S・ガネット 7/26〜8/7
- <世界の人形劇シリーズ No.29> チェコ/アルファ劇場「三銃士」 上演8/10、11 全国ツアー

- 来日 カティア・ベトロヴァ、ストヤン・ロヤノフ 8/13〜9/8
- 第21回海外公演 クロアチア/ブルガリアツアー 9/14〜26 (詳細p34参照)
- 訪問 ドイツ/メネケン人形劇場 9/28 小塚田美子
- 参加 スペイン/トロサ国際人形劇フェスティバル 11/22〜30 小塚田美子

●2019

- 訪問 チェコ/アルファ劇場「ファウスト博士」公演打合せ 2/4〜3/6 山口遥子
- <世界の人形劇シリーズ 特別公演No.30> オランダ/レヨ「Hands up!」 上演2/18
- 訪問 オランダ/ネヴィル・トランター氏アトリエを 3/17〜18 山口遥子
- 来日 アネッテ・ダブス氏(ドイツ/FIDENA フェス・ディレクター)、ヤクブ・ホラ氏(チェコ/ビルゼン SKUPOVA フェス) 4/7〜17

- 研修生 ルーカス・フランケン(ドイツ) 7/1〜8/25
- 来日 マリエタ・ベトロヴァ(ブルガリア)
- <世界の人形劇シリーズ No.31> オランダ/ネヴィル・トランターの世界 上演7/29〜8/1
- 参加 ブルガリア/プロブディフ 9/18〜24 小塚田美子、伊井治彦、亀井佑子、石田律子、山口遥子、西川古柳、西川柳玉



- <世界の人形劇シリーズ 特別公演No.32>チェコ/アルファ劇場「ファウスト博士」[「ドン・ファン」] 上演10/23、24
- 参加 スペイン/トロサ国際人形劇フェスティバル 11/23〜12/4 小塚田美子